



# なかよし



## あいさつの改善に向けて…

師走を迎え、今年度も残り3ヶ月あまりとなりました。現在、本校では「自分からあいさつができる児童80%以上」を目指しています。そのことを踏まえ、10月から計画委員会によるあいさつ運動を行い、あいさつの習慣化を図りました。しかし、児童対象にとつたアンケートと防犯パトロールの方々対象にとつたアンケートを比較すると、あいさつの評価には差がありました。

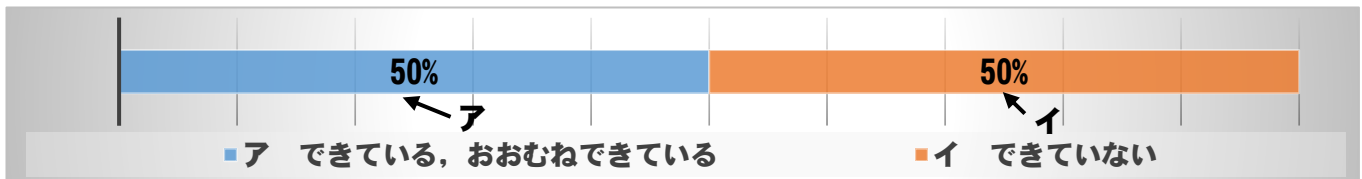
### 本校のあいさつ実態調査【アンケート結果】

①あいさつを自分から友達や先生にはっきり言うことができましたか。(児童対象の生活アンケートより)



②本校の児童は、防犯パトロールの方へ自分からあいさつができていますか。

(防犯パトロールの皆様のアンケートより)



### 防犯パトロールの皆様の声

☆下校時のあいさつはおおむねできているが、仲間同士で話が夢中になると、あいさつがおろそかになってしまう様子が見られます。1, 2年生はいつも大きな声であいさつをしてくれて、元気をいただいております。

☆下校時の小学生に「さようなら、気を付けて帰るんだよ。」と声をかけると、「さよなら」「はーい」と大声で返事が来るので、子供たちに元気をもらう日々を送っています。

△1年生から4年生はあいさつはおおむねできていますが、5年生から6年生は恥ずかしいから自分からのあいさつはあまりできていないように感じます。

△自分から声かけするとあいさつをしてくれますが、恥ずかしいのか、自分からはあまりよくできていません。

△低学年の子はあいさつができていますが、高学年になると照れくささもあるのか、特に女子のあいさつはよくありません。ただし、中学生になってもあいさつができていますので、継続して声かけするしかないと思います。

△あいさつができる子は決まっており、できない子は声かけした時のみあいさつをします。特に女子に多いです。声が小さく、元気に欠ける子が散見されます。

#### 今後の対策☆

上記の結果を受け、計画委員会及び支部児童会等で「あいさつ」が全児童ができるようにするにはどうしたらよいか、考える機会を設け、あいさつの意識化を高学年から図っていきたいと考えています。